

HyperflexでのClear Data Protection Networkの設定

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[その他の背景説明](#)

[手順](#)

[保護されていないVMの動作](#)

[複製ペアの動作](#)

[トラブルシューティング](#)

[VM保護の確認](#)

[データ保護ピアリストの確認](#)

[必要に応じてピアを手動で削除する](#)

[考慮する](#)

[一般的な問題](#)

[依存関係の問題](#)

[接続性の問題](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、Hyperflexでレプリケーションをクリアする方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Unified Computing System Manager(UCSM)
- HyperFlex
- vCenter
- ネットワーキング
- DNS

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- HyperFlex Connect 5.0.2d
- Hyperflexストレッチクラスタ
- Hyperflex標準クラスタ
- UCSM 4.2(1I)
- vCenter 7.0 U3

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

必要に応じてレプリケーション構成をクリアでき、クラスタを新しいターゲットとペアにすることができます。そのためには、現在のレプリケーション構成をクラスタからクリアする必要があります。

その他の背景説明

- データ保護を解除するには、すべてのVMの保護を解除する必要があります。次に、保護グループからこれらのグループを削除します。
- 保護グループは、VMが属していない場合でもクラスタ上に残すことができます。
- 複製ペアの依存関係が、ローカルとリモートの両方のタイプのクラスタから削除されていることを確認します。
- この操作には、両方のクラスタの管理者アクセス権が必要です。

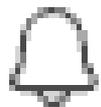
手順

ステップ1：管理者としてHyperflexシステムにログインし、左側のアクションペインのReplicationオプションに移動します。

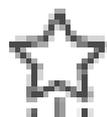


Dashboard

MONITOR



Alarms



Events



Activity

ANALYZE



Performance

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。